

みんなきらきら上尾小～きらきら応援団の活用～

活動主体名 きらきら応援団
自治体名 埼玉県上尾市
関係する学校 上尾市立上尾小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	家庭教育支援	その他
○			

基本データ

(平成 23 年度実績)

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	6人	603人	18年度	無し
放課後子ども教室	コーディネーター数	ボランティアのべ人数	開始年度	補助の有無
	実施場所	子どもの平均参加人数	年間開催日数	児童クラブとの連携
家庭教育支援	教育活動支援員等の数	活動拠点	年間活動日数	補助の有無

活動の概要

本校のきらきら応援団(学校応援団)は、5つの部門に分かれて活動している。

【学習部門】

○お話し隊

国語科・総合的な学習の時間・音楽集会を中心に児童の発表を聞いて、簡単な感想を述べている。

○学習補助

生活科の昔の遊びの補助、図画工作科の彫刻刀や金槌、家庭科の手縫い・ミシンの使い方指導の補助、体育の器械運動の指導補助、書きぞめの指導補助、算数教室(放課後、2・3年生の希望者を対象に実施)の補助、夏休み上尾小教室(夏季休業中、2～6年生の希望者を対象に10日前後開催)の補助、クラブ活動(バドミントン・かるた・将棋)の補助をしている。

【図書部門】

○読み書かせ

毎月第3火曜日の朝8時15分からの15分間、1～3年生と特別支援学級にて読み聞かせを行っている。

○図書室の環境整備

毎月第3金曜日の10時～12時の間、掲示物の作成等、図書室内の整備を行っている。

○図書室の図書貸出返却の補助

長期休業中の図書室開放時に、図書室にて図書の貸出・返却の補助や図書室内の整備を行っている。

【環境部門】

○飼育委員会

長期休業中を中心に、飼育委員会の当番児童ができない時に飼育小屋の生き物の世話をしている。

○ピオトープ

本校のピオトープの管理、ピオトープに生息する植物や昆虫の観察などを行っている。また、その様子をまとめて学校ホームページに掲載し、本校ピオトープの様子を公開している。

【安全部門】

○引率手伝い

生活科や社会科の校外学習等において、教師を補助して児童の引率を行い、安全面の見守りをしている。

○あいさつ運動

毎月第3・4木曜日の7時30分～8時ごろ、本校校門にてあいさつ運動を実施している。

○校内パトロール

学校公開日や作品展、書きぞめ展等の折に、きらきら応援団専用ベストを着用して校内を巡視している。

○ウォーキングパトロール

きらきら応援団のベストを着用して買い物に出かけたり、家の近所を歩いたり、児童の登下校の見守り活動をしたりしている。

【常駐部門】

○毎日交替できらきらふれあいルーム(本校敷地内に設置)に常駐して、児童の安全を見守っている。

準備・立ち上げ期

◇課題

- ・活動の中心となるコーディネーター(ふれあい推進長)の発掘
- ・ふれあい推進長の活動拠点場所の確保・設置
- ・きらきら応援団(学校応援団)に所属するボランティアの確保

◇解決に向けた取組等

- ・コーディネーターに、区長代表(1名)・学校評議員代表(1名)・現PTA役員(2名)・元PTA役員(2名)を委嘱して役割分担を明確化し、事業の積極的な推進を図った。
- ・きらきらふれあいルームの設置にあたり、予算がなかったため、歴代PTA会長会等の地域の方の多大な協力を仰いだ。
- ・「できるときにできることを」をモットーに、全保護者に1部門以上の登録を依頼した。

基盤形成期

◇課題

- ・組織の確立
- ・計画的・積極的なきらきら応援団の活用
- ・ボランティアの確保(保護者だけでなく地域の方への広がり)

◇解決に向けた取組等

- ・校務分掌に「学校応援団主任」を位置づけ、月1回きらきら応援団会議を開催した。
- ・年間指導計画にきらきら応援団の活用を明確に位置づけた。
- ・地域の方にもきらきら応援団への協力をお願いを配布した。
- ・地域の中学校や高校にもボランティアを依頼した。

定着期

◇課題

- ・きらきら応援団の効果的な活用
- ・活動増加に伴うコーディネーター(ふれあい推進長)の負担の解消。

◇解決に向けた取組等

- ・各学年がきらきら応援団活用の内容を再吟味し、必要などころに必要なことを依頼するようになった。
- ・きらきら応援団だけでなく、おやじの会・PTA・近隣の保・幼・小・中・高等学校との積極的な連携を図った。
- ・常駐部門にも、コーディネーターの仕事を補佐するよう依頼した。